

2021年11月10日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

### ベンダーリースビジネスにおける自動審査機能の刷新について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橋 正喜、以下「SMFL」）は、中小企業向け小口販売金融（以下「ベンダーリース」）ビジネスの与信判断で使用している自動審査システムを大幅に刷新しました。自社内で開発したAI機能の活用により、与信判断の精度向上、最適なリース料率の設定、リスク・リターンバランスに基づくリース提供が可能となります。

SMFLでは、リース取引の申し込みをWeb上で行い、取引の可否を最短数分で回答できる自動審査システムを自社開発し、ベンダーリースビジネスに導入しています。今般、同システムに以下の機能を実装することで強化を図ります。

#### ・先進的な機械学習モデルのシステム実装

先進的かつ高度な機械学習モデルによる、大量の情報を多岐にわたり組み合わせる手法を採用することで、リース料不払いの予測精度が大幅に向上します。従来このような高度なモデルの実装は、情報量の多さと組み合わせの複雑さから困難とされていましたが、DataRobot社のモデル構築アプリケーションの導入およびExperian社の自動審査エンジン(PowerCurve)のバージョンアップにより可能になり、従来の統計的手法（ロジスティック回帰）を超える高い予測精度を実現しました。

#### ・産学共同研究による特許技術の実装

一橋大学、東京商工リサーチ、SMFLの3社共同で取得した特許技術「料率算出装置、料率算出方法及び料率算出プログラム」を活用した営業支援機能の実装により、最適となるリース料率をガイドラインとして示し価格交渉を支援します。これまで蓄積した商談や契約に関するビッグデータを因果推論の手法を用いて解析したモデルにより、実効性の高い価格設定が可能になります。

#### ・与信戦略、プライシング戦略の高度化

さまざまなリスクファクターを有機的に組み合わせることでリスク指標化し、それと採算目線を組み合わせることで判断する高度な審査・プライシング手法に改定することで、リスクとリターンとのバランスで取引の可否を判断します。これにより、与信可能範囲が広がり、適切なリスクコントロールの下で、より柔軟にベンダーリースのサービスを提供していきます。

本件により、ベンダーリースビジネスにおけるお客さまへのサービス向上とビジネスモデルの改善を図ります。また、自動審査をより柔軟に展開できるシステム構築にも取り組んでいきます。

SMFLは、自社内で開発するデータサイエンス、デジタル技術、さらに外部の信用調査会社や大学研究機関との共同研究の成果を実装に移すことで、ビジネスモデルの高度化や効率化を進めています。今後この動きを加速させるとともに新たな事業領域を開拓していくことで、お客さまにより付加価値の高いサービスをよりスピーディーに提供していきます。

以 上

**【お問合せ先】**

三井住友ファイナンス&リース株式会社      広報 I R 部      五十嵐      TEL 03-5219-6334